

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		サポートセンタースマイルキッズ				公表日 2025年5月20日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		・学習室、活動スペースとお部屋が別れていて活動出来るようになっています。 ・屋外も広々活動出来るようになっている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		・利用児童に対して余裕を持って配置している為、イレギュラーにもスムーズに対応できるようにしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	3	・完全なバリアフリーではありませんが特性に合わせて手すり、滑り止め等に対応職員が付き添い安全に移動ができるよう対応しています。	・個々の特性や知的レベルにあった環境作りを強化していきたいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		・清潔に保つよう毎日の清掃（消毒） ・トイレの失敗嘔吐等で汚れた場合の為にシャワールームを完備しています。	・下痢や嘔吐時感染拡大を出さないように感染症対策の訓練をしています全職員が対応出来るよう訓練実施に務める	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	2	・個別の部屋はありませんが、休憩室や事務所を空いている部屋を使えるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10		・職員全員がミーティングに参加出来るよう、スケジュール調整を行っています。 ・発言しやすい環境作り	・全職員が周知し毎日の支援に活かせるようにする取り組み	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ミーティングを行い保護者からのご意見を共有して支援に対しての確認を行っています。	・「どちらとも言えない」「わからない」の保護者のご意見意見を踏まえて、現状どんな問題点があるか？に取り組み	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		・ミーティングを行い、個々の意見を発言出来る環境作りを行い適切な業務ができるようにしています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10		・外部評価をいただき、事業所内でミーティングを行い強みをさらに活かしながら高めていきたいと思ひます。	・第三者委員会からのご意見、課題点と職員間で共有し、見える化していくことで業務改善につなげていきたいと思ひます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・資格取得や研修を受講する職員に対しての環境が整っています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		・関係機関への提出、ホームページ等への公表を行っています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		・アセスメントやモニタリング会議にて保護者とニーズや課題の確認を行い作成しています。	・子どものニーズよりも保護者目線のニーズになりがちな点が課題です。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		・ミーティングを定期的に行い子どもの課題目標について話し合い検討しています		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		・ミーティング内にて共有、変更等がある場合も直ぐに対応できるように共有しています		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・保護者や学校や関係機関と連携しながらインフォーマルなアセスの確認を行い活用しています。	・フォーマルなツールを活用が不十分で適応行動、発達水準の把握が今後の課題です	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		・アセスメント、モニタリングに基づいて日常生活及び学校生活、社会生活を円滑に行えるように心がけています。 ・家族支援を積極的に行っています。 子育ての困り感、兄弟姉妹への相談援助等の支援、保護者交流会の提供等	・今後の課題として地域へどう以降していくか（インクルージョン） 子供や保護者にとってのニーズの確認が課題になります。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		・子どもたちが楽しめるように職員で話し合いアイデアを出し合って決めています	・子どもたちが楽しめるプログラムを5領域に組み込み療育、支援として活かす方法が課題	

又 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	・月間プログラムを決め、季節や行事に合わせて、曜日ごとの見通しを立てる ・地域資源の活用や子供が話し合いで活動決め場を時間の提供	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10	・月、金は集団活動 ・火～木は個別活動としてプログラム化しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	・職員ミーティングでその日の支援内容、要点的確認があります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	・1日子供達との関わりの中で成功した方法や失敗して事など共有して明日以降の支援につなげる	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	・バイタルチェック票、連絡帳、個別支援日誌を付けてね日々の記録を記載し検証、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	・定期的にモニタリングを行い、個々のニーズの確認を行っています。必要に応じて計画書の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	10		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	・毎日の生活の中で子どもに選んでもらう機会をつくる。(個別活動、食育等) ・保護者とのコミュニケーションの中で提示するヒントを得る	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	・児童発達管理責任者が参加しています	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	10	・特に新学期は担当者会議を入れて担任の先生とのコミュニケーションをとっています。 変更等があれば都度対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	・小学部の事業所の為障害福祉サービス事業所への移行がない	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	・土曜日、祝日、長期休みを活用して地域の子供達や学童、放課後等デイサービスとの交流を行っています。	・特定の事業所との交流が多いので幅広く交流の工夫が必要です。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	10		・参加できていないのが現状
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	・送迎時の申し送りや連絡帳をツールとして活用して共通理解としています。 場合によっては電話等で連絡しています	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	・外部講師を招いて家族支援プログラムを行っています。	・ペアレントトレーニング等の認知が弱く保護者参加が少ないので、わかりやすく補足しながらお伝えする工夫が必要。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	・契約時に丁寧説明していますが、忘れてしまいがちなので、保護者会で再度説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	・モニタリング会議や日ごろ保護者とのやり取りの中で確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	・個別支援計画書の読み合わせ時に支援内容の説明を行い、変更等があれば速やかに対応しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		・いつでも相談できる環境作りを心がけています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10		・法人イベントや、各事業所での保護者が参加できる研修や相談会や兄弟姉妹や、親類が気軽に参加できる機会を設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		・苦情があった場合は速やかに対応し職員間での情報共有を行い改善に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		・オフィシャルサイト、事業所単独のlineオフィシャルサイトで配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		・保護者と児童の同意を得て細心の注意を払ってSNS等に配信しています。 ・個人情報は鍵付きの棚に収めています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		・個々の特性に合わせたツールを活用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		・法人イベントへお招きし交流を持っています。	・事業所単独への地域交流が無いため今後の課題です。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		・事業所内ミーティングでマニュアル等の読み合わせ、実際に訓練を行い、家族へ周知を行っています。	・家族との周知が課題
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		・BCPを元に災害時に備えて定期的に訓練を行っています。 ・備蓄品の中身のチェックを定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		・アセスメントシートを活用して確認し変更等がある場合は情報共有を行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・保護者より申し送りや医師の指示書を元に万が一に備えてお薬をお預りしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		・安全計画書を元に危険箇所の確認や危険箇所の補強を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		・実施した訓練の様子や子供たちの様子や反応を写真や文章で記録し保護者へ報告しています。	・個別支援会議を通じて安全に関する不安や意見を聞きとり、安全に計画に反映できるようにしたいと思います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		・事業所内での事例検討を行い、環境要因なのか、人力的要因なのかを共有し再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		・法人研修、事業所内研修、第三者委員会の設置しています。 全職員が参加しています	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		・契約時に丁寧説明を行うと同時に連絡帳に身体拘束の記載欄を設け万が一拘束があった場合は保護者への説明を行っています。		